

先輩はストラスブール大学でこんな授業を受けています！

Université de Strasbourg (フランス・ストラスブール) | 2024 年・2025 年秋派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、ストラスブール大学へ派遣された 2 名の先輩の留学レポートから、履修した全科目を授業内容・先輩のリアルな感想とともにご紹介します。

EU 研究、国境研究、幸福の経済学、財務会計、マーケティング、ワインビジネス、そしてフランス語・フランス文化——EU 議会のあるヨーロッパの中心都市ストラスブールならではの、英語で学べる国際色豊かな科目と、レベル別のフランス語科目 (FLE) を組み合わせて履修できるのがストラスブール大学の魅力です。EU 機関への訪問やワインセラー見学など、教室の外に出る授業も豊富。クラスメイトは世界中からの留学生で、英語ネイティブでないことがハンデにならない評価システムも安心ポイントです。

◆ 先輩レポート 1 ヨーロッパ文化とフランス語を深めた先輩の履修科目 (1 年間・7 科目)

在籍: 成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科 (4 年・2024 年夏秋派遣) | EU 研究・経済からフランス語まで幅広く履修

— 秋学期 —

Economy of Happiness (5 単位)	
履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	25 人程度
評価方法	最終テスト 50%、レポート 25%、グループプレゼンテーション 25%
どんな授業？	経済や人間関係、仕事と「幸福」の因果関係を学びます。経済成長率と幸福の関係性など、世界幸福度ランキングの背景にある研究に触れられます。
先輩の声	スライドに授業内容のほとんどが記されており、聞き取れなかったところも復習できたのがありがたかったです。幸福がどのような影響を及ぼしているのか知ることができて興味深かった。初めて英語で書いた 8 ページのレポートは大変でしたが、大きな経験になりました。

INTS360 EU and Contemporary European Affairs (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	15 人程度
評価方法	記述式テスト、個人プレゼンテーション
どんな授業？	EU や NATO の取り組み、ヨーロッパ各国の文化や政策を学びます。毎回の授業の最初に、学生がヨーロッパの国を 1 つずつプレゼンします。
先輩の声	各国の政策や取り組みを知ることができて面白かったです。先生のフィードバックで文化や観光地などその国について深く説明してもらい、理解が深まりました。アメリカ人学生向けの速い英語だったので、リスニングはかなり鍛えられました。

INTS361 European Identity and French-German Cooperation along the Rhine (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	グループワーク中心
クラス規模	15 人程度
評価方法	プレゼンテーション、レポート(グループ・個人)
どんな授業？	ヨーロッパの国境協力、特にライン川をはさむドイツとフランスの国境問題を学びます。シンポジウムもあります。
先輩の声	ほとんどがグループワークで、先生からフィードバックをもらう形式でした。シンポジウムでは日本の教授も来ていて、日本とヨーロッパの比較についての発表を聞くことができて興味深かったです。

Développer l'expression orale et écrite II(フランス語・A2) (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	レクチャー(すべてフランス語)
クラス規模	25 人程度
評価方法	筆記テスト 25%、口頭テスト 25%、最終テスト 50%
どんな授業？	日常会話のフランス語や文法を学びます。授業はすべてフランス語で行われます。
先輩の声	いろんな国の人とフランス語で交流できてすごく面白かったです。フランスでよく使われる単語をネイティブから学べたこと、正しい発音を聞きながら話す練習ができたことが良かった。単語帳に載っていないような実際のフランス語を知ることができ、ためになりました。

— 春学期 —

Deciphering French Culture - Mindsets and Practices (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	プレゼンテーション 50%、記述テスト 50%
どんな授業？	フランス語の特徴、フランス文化、芸術を学びます。
先輩の声	フランスの文化を特に学びたいと思っていたため、興味深かったです。毎授業、動画を見て他の国の人とフランスについてディスカッションするのが楽しかったです。

Essential Concepts in Financial Analysis (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	ミニテスト 3 回 5%、中間テスト 25%、期末テスト 70%
どんな授業？	フランスの財務会計を学びます。授業を通してひたすら計算に取り組みます。
先輩の声	日本の簿記でも難しかったのに、会計の項目がすべて英語で書かれていて理解するのが大変でした。フランス語話者の学生が多く、先生がフランス語で解説することもあり鍛えられました。数字に強くなりたい人にはチャレンジングでやりがいのある授業です。

Projets FLE en Semi-Autonomie(フランス語・B1/B2/C1) (5 単位)

履修した先輩	成城大学 文芸学部 ヨーロッパ文化学科の先輩
授業形式	プレゼンテーション中心(フランス語のみ)
評価方法	毎授業のプレゼンテーション 50%、フランス語学習サイトの進捗 50%
どんな授業？	フランス語でしか話してはいけない授業。毎授業お題が出され、即興でフランス語のプレゼンをします。実用的なフランス語と正しい発音が身につきます。
先輩の声	即興でプレゼンするのは難しく、復習だけでは追いつけないこともありましたが、レベルの高いクラスメイトとの会話は大変でしたが、その分フランス語の実践力が大きく伸びる授業です。

◆ 先輩レポート 2 EU・ビジネス・ワインまで学んだ商学部先輩の履修科目

在籍：慶應義塾大学 商学部 商学科(3年・2025年秋派遣) |
EU 研究からワインビジネス、フランス語入門まで 5 科目を履修

European Contemporary(EU 研究) (5 単位)

履修した先輩	慶應義塾大学 商学部 商学科の先輩
授業形式	レクチャー＋EU 機関への訪問
クラス規模	13 人(自分以外アメリカ人)
評価方法	個人プレゼンテーション、記述試験
どんな授業？	EU 成立の歴史から、EU 機関や NATO の役割、ソマリア紛争・ボスニア紛争での EU・NATO の関わりまでを学びます。実際に EU 議会を見学し、議会のロールプレイングも行います。
先輩の声	1 回の授業が 3 時間半あり集中力を保つのが大変でした。政治分野は初めてで知識面でも苦労しましたが、実際に EU 議会でロールプレイングしたり見学したりして、より興味を持って学べました。ヨーロッパ視点とアメリカ視点で比較しながら学ぶのも興味深かったです。

Border(国境研究) (5 単位)

履修した先輩	慶應義塾大学 商学部 商学科の先輩
授業形式	レクチャー＋2 日間のシンポジウム
クラス規模	14 人(自分以外アメリカ人)
評価方法	シンポジウムでのグループプレゼン、個人のリサーチペーパーとプレゼン
どんな授業？	ヨーロッパの国境と、それに伴う紛争の歴史を学びます。言語、通貨、EU・シェンゲン協定への加入など、「国境」を広い意味で捉えて分析します。
先輩の声	個人研究では北朝鮮の国境について調べて発表しました。アジア人だからこそのテーマ選定とリサーチをととても評価してもらえました。EU に入っていない国があるなど、ヨーロッパは想像以上に多様なのだと実感しました。

EM165M17 Sustainable Global Wine Business (5 単位)

履修した先輩	慶應義塾大学 商学部 商学科の先輩
授業形式	レクチャー＋ワインセラー訪問(1 ヶ月の集中コース)
クラス規模	40 人程度
評価方法	グループプレゼン 2 回、期末試験
どんな授業？	ワインの作り方から地域ごとの特徴、各国のワイン市場まで、製造から販売までを具体的に学びます。アルザスのオーガニックワインを生産するセラーを訪問し、テイastingも体験。そのセラーへのマーケティング戦略をグループで提案します。
先輩の声	週 3 回・時には朝から夕方までの集中コースで大変でしたが、ワイン畑とセラーへの訪問は貴重な経験でした。実在のセラーに対してマーケティング戦略のプレゼンを行うという、ストラスブールらしい実践的な授業です。

EM09GM07A1 Marketing Strategy and Applications (5 単位)

履修した先輩	慶應義塾大学 商学部 商学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	40 人程度(中国、インド、アラブ系など多国籍)
評価方法	グループプレゼン、レポート、期末試験
どんな授業？	ブランド、ターゲティングなどの基礎からデジタルマーケティングなどの最新トレンドまで、マーケティング全般を学びます。最後は実在するストラスブールの 5 つ星ホテルのケーススタディに取り組み、ホテル関係者に顧客獲得策を提案します。
先輩の声	興味のある分野を学ぶのはやはり楽しかったです。日本で学んだ基礎と重なる部分もありましたが、より深く、インターナショナルな文脈で学びました。世界中の留学生とのグループワークで、主体的に関わる大切さも学びました。

FLE: Complete Beginners I(フランス語・A0) (5 単位)

履修した先輩	慶應義塾大学 商学部 商学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	20 人ほど(中国、アメリカ、ブラジル、ハンガリー、エジプトなど)
評価方法	出席、オーラルテスト、中間テスト、期末テスト
どんな授業？	フランス語の完全入門。自己紹介から男性・女性名詞、動詞の変形、時間や数字の読み方まで学びます。
先輩の声	先生がほとんどフランス語で説明するので理解が追いつかない部分もありましたが、復習することできちんと理解でき、テストはよくできたと思います。ペアワークもあり、友達も作りやすかったです。

先輩が感じた、ストラスブール大学の授業のここがすごい！

「海外では自分から意見を言う人が多く、先生も良い答えや質問に『それいいね』と褒めてくれて、授業内でも先生と生徒のコミュニケーションの機会が多いと感じた。私の留学先は英語を母国語とする人が少なく、英語力そのものは評価に含まれず、伝えようと頑張ること、自分の意見を常に持つことで良い評価が得られた。ネイティブが有利になることなく公平な評価を受けられる、すごくいいシステムだと感じた。この仕組みのおかげで自信をもって自分の意見を持つことができた。」

—— 2024 年夏秋派遣・成城大学の先輩

※ 本ページの内容は 2024 年夏秋・2025 年秋派遣生の留学レポートに基づいています(先輩レポート 2 は秋学期終了時点の内容です)。開講科目・評価方法は年度により変わる場合があります。